

# 日本人の忘れもの

日本人の忘れもの 知恵会議  
2019年5月21日(火)  
京都産業会議センターホール  
北室 (京都経済センター2階)  
主催=京都新聞  
共催=京都市  
京都府地域企業未来力会議  
協力=文化庁 地域文化財団生年本部  
企画協力=日商社  
「忘」=筆 森清龍 清水寺貞主

京都市基本構想は、京都市が千年以上の歴史で培ってきた得意技「めきき、たくみ、きわめ、こころみ、もてなし、しづ」を再確認して磨き続けることが、華やかに安らぎに満ちた京都のまちづくりにつながっていくと提言しています。

## 京都新聞創刊140年記念 「日本人の忘れもの 知恵会議」 京都経済センター開業記念フォーラム

次世代へ伝える文化を考える京都新聞の「日本人の忘れもの 知恵会議」が5月21日、京都産業会議センター(京都府下京区)で開かれた。変わる社会や地域コミュニティをテーマに、5人の識者が、現代の暮らしを豊かにするために必要なことは何かを話し合った。

### ■基調講演 鷲田清一氏 哲学者

#### 「中景」を再興し、「未来の課題」の解決を

1999(平成11)年、私が携わった2025年までの京都の未来像を展望した「京都市基本構想」は、主語が「わたしたち京都市民」で統一された上で、幅広く市民の希望と各界専門家の知見を集めたものでした。市民による行政参加の重要性を説いた上で、行政機関が主導する文書とは一線を画したものであったと言えます。同構想の下、資料として取集された1993年の京都新聞記事は



京都新聞  
京都産業会議センター北室(京都府下京区)で開かれた「日本人の忘れもの 知恵会議」。

# 京都発 文化と暮らしの未来

### ■パネルディスカッション

「現在取り組んでいる仕事、基調講演に対するコメントをお願いします。」  
岡村●私が参画している京都市地域企業未来力会議が発信した「地域企業宣言」の趣旨は、企業規模にとられず地域と共に発展する地域企業を目指すもので、まさに鷲田先生が指摘した中景を再興する方向に沿っています。「働く環境の総合商社」をテーマに掲げる弊社では、制度だけではなく風土がより大切というところで、とりわけ「他者」への配慮に重点を置いては、働きやすい制度やルールを整備だけではなく、働きがいのある企業風土の醸成に力を注ぐことで、保育施設に預けられなかったお子さんの「子連れ出勤」をしやすいつなげをみんなで作り上げています。権利を得た人は、権利のない人へ配慮するよう今後も言っていくことで、「中景」としての企業の役割を果たしていこうと考えています。

鷲田氏 新しいネットワークづくりが大切

堂目氏 共感の場を広げ「心の壁」を乗り越える

岡村氏 ワークとライフを分けない職場環境を

村上氏 生活スタイルを見直し日本の文化を再発見

松倉氏 「地藏盆」はコミュニケーションの理想像

コミュニケーションももちろんつながっているように思います。

堂目●私は京都市内で自治会の責任者を務めたことが何度ありますが、最近が高齢化も進み、なかなか担い手が見つからず、伝統的な自治会という「中景」は危機にあると言えます。今後、若い世代も含めて多様な人々に仲間意識を広げていくことが必要だと思います。

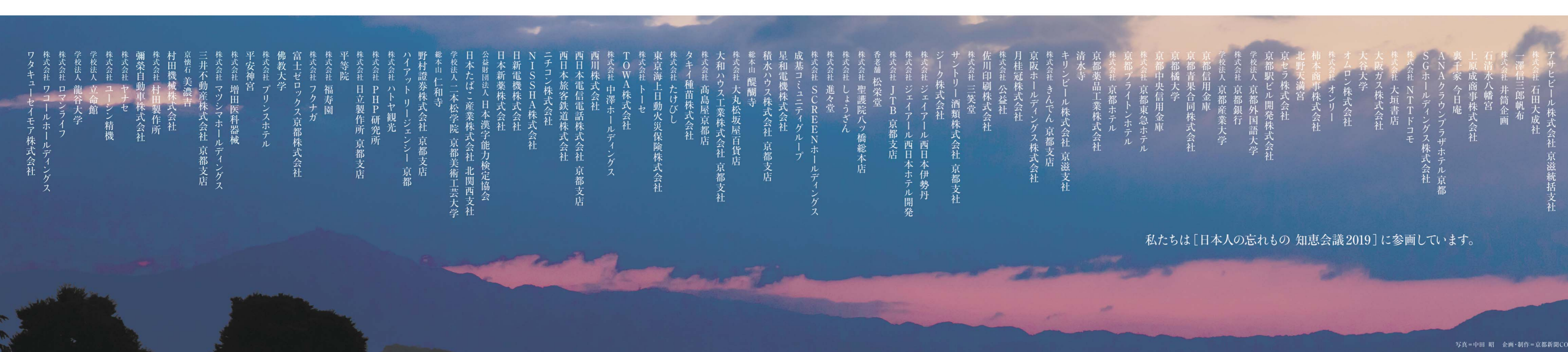
鷲田先生が文化を「生きるための知恵」と説かれたように、文化の根底には命があります。文化の違い、つまり「心の壁」を乗り越えるには、命を見つめることで共感の場を広げていかなければなりません。私が在籍している大阪大学では、どのようにして異なる文化の間で「心の壁」を取り払うことができるか、学術的な見地から取り組んでおり、それによって「中景」を広げることができているのではないかと考えています。



◎コピエーター  
内田 孝 京都新聞総合研究所所長

京都、地域企業宣言(一部抜粋)  
京都市地域企業未来力会議  
私たちは、規模を基準とする中小企業ではなく、人と自然と地域を大切に、地域に根ざり、地域と共に、地域と共に継承・発展する「地域企業」である。その自覚と誇りを胸に、京都が日本、世界、そして未来を見据え活動していくことをここに宣言します。中略

- 鷲田清一氏(たけし) 哲学者  
1999年京都新聞生まれ。京都市立西京大学文学部と兼任ゼンセン、メディア・アート編集長。現在は哲学者、倫理学者。
- 堂目卓生氏(たけし) 大阪大 社会ソリューション・アジアチーフ長  
1996年結婚。現在は大阪大経済学助教授なるを経て大阪大経営情報学社会ソリューション・アジアチーフ長。
- 岡村氏(たけし) 京都市地域企業未来力会議  
1996年京都新聞生まれ。京都市地域企業未来力会議では、京都市地域企業宣言策定責任者、京都府経済政策推進委員。
- 村上佳代氏(たけし) 文化庁 地域文化創生本部 文化財調査官  
1996年結婚。現在は文化庁文化財調査官として、文化財の調査や発掘調査、専門的な文化財調査などを行っている。
- 松倉早星氏(たけし) Nue inc.代表/プランナー  
1998年結婚。現在はNue inc.代表/プランナーとして、文化財の調査や発掘調査、専門的な文化財調査などを行っている。



私たちは「日本人の忘れもの 知恵会議2019」に参画しています。